

園長だより

No.8

「保育参観保護者感想」

第1回保育参観感想ありがとうございます。皆様の感想を読んで、とても励みになりました。今後の保育にもいかしていきたいと思えます。

次回、第2回保育参観は6月9日(木)の9時30分～11時30分(全クラス)です。よろしくお願いいたします。

★第1回保育参観保護者感想(一部抜粋)

○年少組

- ・今までママにべったりだった娘が、泣いても先生にくっついて何とか「よーいどん」ができたり、紙芝居を楽しそうに見たりする姿に成長を感じた。みちる先生の「たんぽぽ通信」を毎週楽しみにしている。
- ・園庭で、みんなで「よーい！どん！！」が始まるとニコニコ笑顔で参加する姿を見ることができ、大変安心した。
- ・園の雰囲気や、子どもの様子が分かり安心した。子どもはまだ緊張しているようだったが、来年はどう成長しているのか楽しみだ。
- ・みちる先生、まだまだ年少さん、大変だと思うが、先生の笑顔で、子どもも親も元気をもらっている。
- ・お友達の名前を数名覚えて私に教えてくれていたので、参観の机の作業の時に、お友達とそのお母さんに、お会いできたのでよかった。
- ・まだ先生の指示を一回で聞けない子がたくさんいた。でも、こんな時期も今だけなんだなあと思いつながら、自分の子が楽しく生活している場面を見て、次の参観日が待ち遠しく思った。
- ・先生方は、息子の行動を気にかけてくださっていると、とても感じた。
- ・先生と子ども、親と子どもの活動があつて、ことどもも安心していられたと思う。日常の様子(歌っている、作業している、先生の話をしているところ等、ごく普通の毎日…)たくさん観られたらうれしい。
- ・最初の一週間は、皆それぞれ好き勝手に動き回り先生の声も聞こえないほどだった。今回の参観では、先生の指示通りに動きママが近くで見ている、自分の席に着き、彼らなりに自分のすべきことがわかってきたんだなと感心した。

- ・最初は泣いていた娘だが、今では家に帰ると、弟相手に幼稚園幼稚園ごっこをしている。「みんな集まれー」といったり名前を呼んだり、電車ごっこしながら移動したり、そんな様子を直接見ることができ成長を感じた。
- ・集団生活の中でも、個人一人ひとりをきめ細かく指導していただいていると感じる。毎朝の送り迎えでも、名前を呼んでいただき、帰りも「今日は〇〇しました」など言っただけなので、子どもの成長がみられて嬉しい。

年中組

- ・おやつ時間などの普段の姿が観ることができたのはよかった。
- ・先生が話し始めた時など、遊んでいた子どもたちが、先生の方を見て話を聞く姿勢を観て、少しお兄さんになったように感じた。
- ・「今日はお当番さんをしたよ」と帰って話をしてくれる。今日実際にその様子が見られて感動した。年少組より、自分の子どもも含めて、みんな成長しているんだなと思った。
- ・子どもたちの集団のなかにいると、家とは違う一面を見せている息子がいた。
- ・幼稚園での生活がよく分かる参観だった。娘の話からお当番をしているのは、知っていたが、リンゴジュースを配る仕事を見て、「すごいなあー」と思ったのと、ちゃんと一人ひとりに入っているのかを確認していて、しっかりしていると感じた。
- ・今回、当番のチームだった。普段家では「コップにジュース入れてー」というだけの娘だが、自ら大きなパックを持ち、お友達のコップにジュースを注いでまわる姿に、私は驚いた。
- ・グループのお友達とのやりとりや先生のお話をちゃんと聞けていたり、お当番さんが上手にジュースを注いで回ったり、お手紙を後ろの子に回したり、そのお手紙を上手に二つに折ったり…。その姿を観て、一つ一つのことにも感動した。
- ・きちんと席に座り、ジュースを配り終わるまで静かに待つことができている、とてもいい子でびっくりした。家とは違う子どもの姿が観られてよかった。
- ・「子どもがお腹にいるとき、産まれてときのことなどを思い出して、子どもにメッセージを書いてください」と先生に言っただいたので、「お母さんのところに来てくれてありがとう。元気に産まれて来てくれてありがとう。大好き。」とおしゃかさまカードに書いた。次の日、娘が「おかあさん うんでくれてありがとう」とお手紙をくれた。涙が出た。
- ・今年度役員さんの方々の顔が見られて嬉しかった。新しく研修や園芸など積極的に園と一緒に活動できるといいなと思った。
- ・はさみとのりの活動をみんながきちんと座り、自分で考えてやっているところ

ろ。終わったら、絵本を読んで待っているという流れが、子どもたちに身につけていて、年中になったんだなーと感じた。

- ・36人も園児がいるのに、つばき先生は、一人ひとりをよく見てくださっているのが、分かった。
- ・子どもの成長がよく分かるとてもよい保育参観だった。
- ・たんぼぼさんから少しお兄さんお姉さんになっただけなのに、みんなきちんと座って、ママたちに気が散ることなく集中して制作している姿にびっくりした。
- ・みんなきちんと座って作業をし、当番さんがジュースを配り、その間、待っている子たちもちゃんと席に座り、みんなお兄さんお姉さんになったんだなと感心した。
- ・お当番さんがジュースを上手に配っていて子どもたちの成長を感じることができた。
- ・帰りの準備では、ボタンはかけ違えることはとても多いが、年少の時は一つ止まっていればよい方だったのが、今日はかけるだけかけられるようになり、驚いた。
- ・教室に入ると子どもたちが、はさみを使っていたので、少し心配したが子どもたちみんながはさみを持って歩き回ったりせず、最後まで真剣に作業しているのを見て成長を感じた。
- ・空いた時間に本を読んで待つという習慣はとてもよいと思った。娘は幼稚園に入ってから、本に興味を持つようになり、このような習慣からもつながっているのだと思った。・家とは違ってきぱきと行動する息子に驚いた。
- ・「うめ組さん」の先生と子どもたちのお約束の言葉や合図で、みんながそれぞれのことをしていても、一斉に動けるように行動していることがとても印象的だった。
- ・子どもたちが先生の指示に従い、行動できていることにびっくりした。年少の時に比べ、落ち着きがあり、自分のことは自分ですするという姿勢が見られた。たった数ヶ月なのに、とても成長を感じた。

年長組

- ・普段くじら組を利用しているのでなかなか子どもの園での様子を見る機会、他のお母様たちと話す機会がなかった。今日の参観でそのような機会を持ててよかった。
- ・保育室での子どもが、どのように友だちと関わり生活しているか今回の参観で知ることができ、子どもの成長を感じ取れ親としてうれしく思った。担任の、

りさ先生も、園児一人ひとりに気を配っている様子などを感じられ、きく組の子どもたちが楽しそうに過ごしているのを見ることができ有意義な一日だった。

- 子どもと裁縫をするのは、初めてだった。普段裁縫など、なかなかさせてあげられないので一緒に裁縫ができて楽しかった。
- 毎年恒例の最初の保育参観、久しぶりに息子との共同作業が、とても楽しかった。
- なにかを親子で作り上げることは、とてもよいことだが、小さい布を縫うのは、なかなか難しかった。
- 今回の参観は、親子で一緒に取り組むものだったが、私自身手先が器用でないためにせっかくの機会にも関わらず子どもに手伝わせることなく、作業を進めてしまった。残りは家でやればよいのだから、もう少し余裕を持って取り組めばよかったなあと考えた。
- 今回の保育参観はお数珠ポーチ作りということで生地や紐を選んだりと楽しみにしていた。針も使うのが初めてなので、難しいといていたが、楽しそうにがんばっていた。